



フォルクスワーゲン、大規模実証実験「ITS-Safety 2010」に参加

フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社(略称:VGJ、代表取締役社長:ゲラシモス ドリザス)は、政府が推進する ITS プロジェクト(ASV, DSSS)に対応した 2 台の実験車(「パサート CC ASV4/DSSS」)を開発し、官民合同組織「ITS 推進協議会」が実施する 08 年度大規模実証実験「ITS-Safety 2010」に参加しています。今回の大規模実証実験において VGJ が参加しているプロジェクト、および活動は以下の通り。

第 4 期 ASV プロジェクト (主催: 国土交通省自動車交通局)

- 車車間通信により車両の速度や方向などの情報を各社の車両と逐次交換する装置を 2 台のパサート CC に搭載した。本装置により、一定の条件で他車両との衝突の可能性がある場合に運転者に注意を喚起する機能を実現した。この 2 台の実験車を利用し、東京都臨海副都心地区で実施された実証実験に参画した。

安全運転支援システム(DSSS)プロジェクト (主催: 警察庁)

- 光ビーコンを介した路車間通信により周囲の他車両もしくは歩行者/自転車の情報を検知し、一定の条件で衝突の可能性がある場合に運転者に注意を喚起する装置を、上記 2 台のパサート CC に搭載した。本実験車両にて、今後行われる実証実験に参加する。

VGJ は、1 月 12 日より逐次、東京都臨海副都心地区で実施されている上記の実証実験に積極的に参画している。また、2 月 25 日(水)~28 日(土)に実施される公開デモンストレーションに、「パサート CC ASV/DSSS」で参加します。

フォルクスワーゲンでは、日本で実施される安全・快適な道路交通の実現を目指す ITS システムの開発・研究だけでなく、欧州、北米での通信技術を用いた安全向上技術の開発・研究にも積極的に参加しています。